

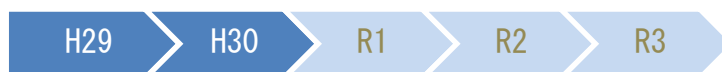
令和元年度 行政評価「外部評価（政策評価）」

1. 第二次千曲市総合計画 前期基本計画「成果指標」

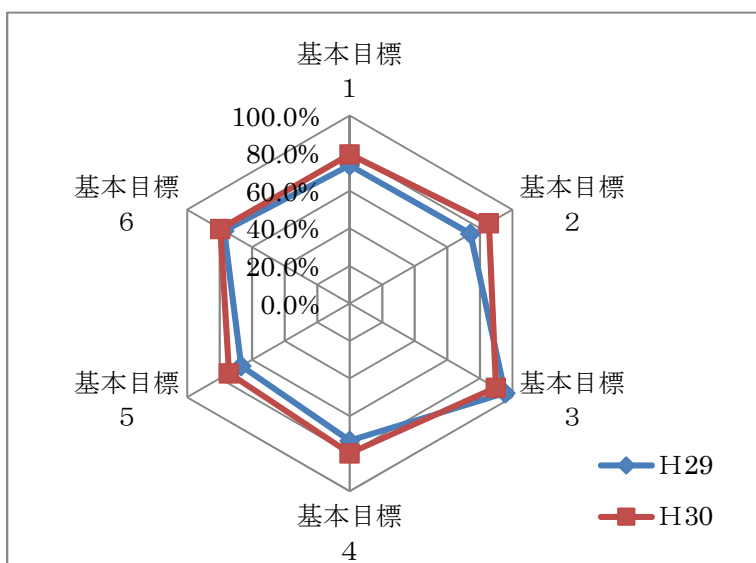
第二次千曲市総合計画「前期基本計画(H29～R3 年度)」では、まちづくりの達成状況を測る「ものさし」として、32 の達成方針(分野)ごとに「132 の成果指標」を設定しています。

毎年度の「政策評価」において、指標の達成状況を見ながら政策の展開状況を振り返り、「総合評価」としてしています。

「施策評価・総合評価」の結果等は、翌年度への改善に向けて取り組めるよう、実施計画や予算編成に反映し、「行政評価結果」としてまとめ公表します。



■ 基本目標 1～6 の平均達成率レーダーチャート（基本目標ごと）



	平均達成率	
	H29	H30
基本目標 1	73.6%	79.4%
基本目標 2	74.3%	85.6%
基本目標 3	95.5%	92.9%
基本目標 4	73.1%	79.8%
基本目標 5	66.7%	74.3%
基本目標 6	77.2%	79.5%

○基本目標 1 千曲の魅力で創生する賑わいと活力あるまち

分野全体の達成率は約 8 割に増加した。成果指標 44 項目中、達成項目は平成 29 年度 10 項目から平成 30 年度 11 項目と増加。

「インターチェンジの利用台数」の上昇、「循環バス・デマンド交通の年間利用者数」の増加などにより【都市基盤】の達成率は高め。「研究支援件数」の減少により【産業連携】の達成率はやや低い。【観光交流】【雇用】については、達成項目が平成 29 年度 1 項目から平成 30 年度 2 項目と増加している。

○基本目標 2 安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち

分野全体の達成率は8割を超えた。成果指標 37 項目中、達成項目は平成 29 年度 4 項目から平成 30 年度 7 項目と増加。

【子育て】・【生涯学習スポーツ・文化芸術】・【男女共同参画】において、平成 29 年度は達成項目が 0 であったが、平成 30 年度に達成した項目があった。

平和をテーマにした事業が盛況だった【人権・平和】は達成率が高い。（目標値が低かったか）

○基本目標 3 支え合い、だれもが健康で活躍するまち

分野全体の達成率は約 9 割。成果指標 24 項目中、達成項目は平成 29・30 年度ともに 10 項目。全基本目標中、達成項目の割合が最多となっている。

「地域福祉」「保健・医療」「障がい者福祉」の達成率が高い。「健康づくり」では、定期予防接種（A 類）の接種率は平成 30 年度達成したが、各種がん検診率（5 検診）の達成率が低い。

○基本目標 4 災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち

分野全体の達成率は約 8 割。成果指標 16 項目中、達成項目は平成 29 年度 3 項目から平成 30 年度 4 項目と増加。

「公園・緑地」「上下水道」「ごみ処理」「地球環境保全」とも約 9 割の達成状況である一方、「安心・安全」が低くなっている。地域自らが地区防災計画を策定する「地区防災計画」件数、及び「都市圏自治体との防災協定」件数が 0 であることから達成率を押し下げている。

○基本目標 5 輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち

分野全体の達成率は約 7 割。成果指標 11 項目中、達成項目は平成 29・30 年度ともに 2 項目だが、達成率は増加している。

「自然との共生」「食文化」「伝統文化」が約 9 割の達成状況である一方、「景観形成」の達成率が低い。「歴史・文化財」における蔵等の改修利用棟数、及び「景観形成」の建造物修景事業の件数は増加した。

○基本目標 6 協働で創る、市民主体の住みたい住み続けたいまち

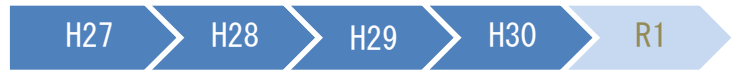
分野全体の達成率は約 8 割。成果指標 8 項目中、達成項目は平成 29 年度 3 項目から平成 30 年度 2 項目と減少。

「行政経営」「広域行政」「情報コミュニケーション」の達成率は上昇しているが、「市民協働・市民交流」は約 1 割と低い。市民と行政による協働事業のうち、市民が主体となって公益的活動を継続的に取り組んでいく件数が少なかったことや区・自治会の枠にとらわれない単位で「地域づくり計画」を策定・推進する取り組みが押し下げている。

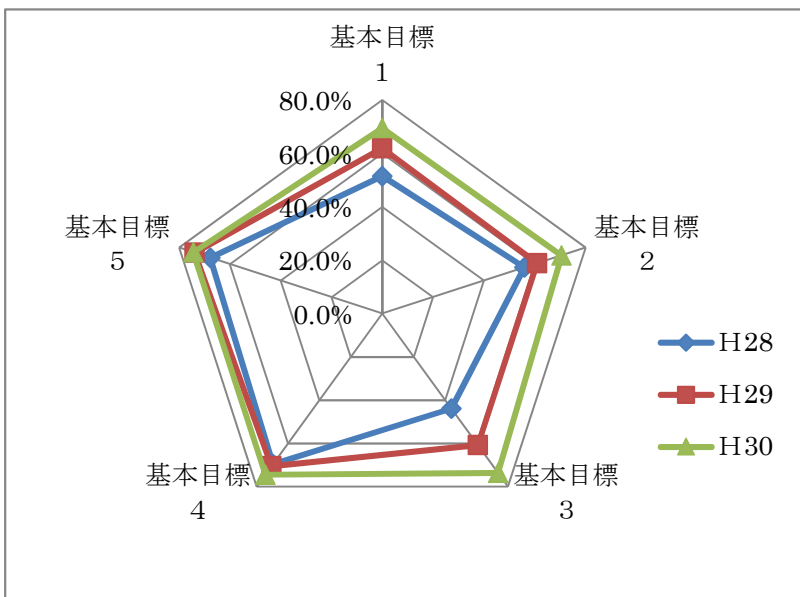
2. 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という）では、千曲市人口ビジョンにおいて提示した将来展望として「令和 22（2040）年に人口 50,000 人維持」を目標に、5 つの基本目標のもと 23 の具体的施策において「81 の重要業績評価表指標（KPI）」を設定しています。

現総合戦略は、平成 27 年度から令和元年度までの 5 年間の計画期間としており、平成 30 年度は計画期間の 4 年目となることから、最終年度に向け政策評価を実施した。



■基本目標 1～5 の平均進捗率レーダーチャート（基本目標ごと）



【基本目標別】

	進捗率		
	H28	H29	H30
基本目標 1	51.5%	61.9%	69.4%
基本目標 2	55.9%	60.9%	70.5%
基本目標 3	43.9%	60.8%	73.6%
基本目標 4	69.6%	70.6%	74.5%
基本目標 5	67.7%	73.9%	74.4%
平均	57.7%	65.6%	72.5%

○基本目標 1 安定した雇用を創出する

分野全体の達成率は約 7 割に増加した。指標 14 項目中、達成項目は平成 28・29 年度の 3 項目から平成 30 年度は 5 項目と増加。

基本目標 1 の進捗率は高い値で推移している。

平成 30 年度は、1-3 の KPI「創業件数」・「納税義務者 1 人当たり所得」、1-4 の KPI「ワイン用ブドウの栽培面積」が新たに目標値を達成した。

1-1 の KPI「本社機能誘致」、1-4 の KPI「地元産品を新たに使用する事業所数」・「新商品開発支援件数」の進捗率が低調な状況にある。

○基本目標 2 新しい人の流れをつくる

分野全体の達成率は7割に達した。指標16項目中、達成項目は平成28年度4項目、平成29年度3項目、平成30年度は5項目と増加した。

基本目標2の指標「社会増減」は3年連続で目標を達成しているが、**指標の「観光客入込総数」**は年々減少している。

2-3の具体的施策「移住・定住の推進」は、進捗率が低調なまま推移していることから、具体的な施策や事業の構築が必要とされる。

平成30年度は、**2-1のKPI「観光・地域情報の発信件数」**が新たに目標値を達成した。

○基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

分野全体の達成率は7割に達した。指標15項目中、達成項目は平成28年度・平成29年度1項目であったが、平成30年度は4項目と増加した。

基本目標3の指標「合計特殊出生率」は増加しているが、目標値は達成していない。

平成30年度は、**3-1のKPI「乳幼児健診受診率」**が新たに目標値を達成した。

3-3 具体的施策「協働による子育てコミュニティサイトの構築」は、進捗率が低く、**KPIの「コミュニティサイト」**は「子育て支援アプリ」へ移行したことからKPIの変更が必要である。

○基本目標 4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める

分野全体の達成率は7割を超えた。指標14項目中、達成項目は平成28年度3項目から、平成29年度・平成30年度は4項目と増加した。

基本目標4の指標「中心市街地居住者の生活利便性」は目標値を達成している。

4-1のKPI「姨捨スマートICの利用者数」は、姨捨スマートICの24時間利用可能により目標値を達成し、利用者が年々増加している。

具体的施策**4-3「歴史・文化資源を活かした交流拠点の形成」**は、進捗率は低く推移しているが、**KPI「建造物修理・修景件数」・「蔵等の改修利用棟数」**は年々増加している。

4-6のKPI「連携事業数」は平成30年度目標値を達成した。

○基本目標 5 健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める

分野全体の達成率は7割を超えた。指標21項目中、達成項目は平成28年度2項目、平成29年度5項目、平成30年度7項目と増加している。

基本目標5の指標「誰もが安心して暮らせる地域になっていると感じる市民の割合」は、平成28年度以降数値が把握できないものとなっていることから指標の変更が必要である。

具体的施策5-1「中高年が楽しみながら健康になれるスポーツのまちづくり」と5-2「生きがいくりと社会参加」は、指標の達成項目が0となっている。

5-4のKPI「市域担当の生活支援コーディネーターの配置数」は、平成30年度初めてコーディネーターが配置されたことから目標値を達成した。

■ 行政評価等外部委員会からの政策評価に対する意見等

- 総合計画において、個別分野の進捗状況に差はあるものの、基本目標 1 から基本目標 6 までに 7 割以上の達成率であり、平成 29 年度より達成率・達成項目が上昇・増加していることから「比較的順調」であるといえる。
- 総合戦略においては、個別施策の進捗度には差があるが、最終的な成果となる「目標人口」の推移を見ると、社会増減が 3 年連続でプラス、合計特殊出生率も 1.43 から 1.54 に上昇しており、人口も令和元年 9 月 1 日現在、59,220 人と、概ね目標設定どおりに推移している。
- 総合戦略においては、計画期間の 4 年目であり、各項目の進捗率・達成項目は毎年順調に増加している。
- 指標の目標値の設定によって、達成率が低い項目がある（基本目標 6 の市民協働・市民交流など）。目標値の設定について、妥当性を議論する必要があるのではないか。
- 達成状況を数値で表せない指標については、費用対効果・スピード感等の観点から、文章で進捗状況の評価が必要ではないか。
- 指標によっては、予算上の制約や市の努力だけではなく、相手方の都合により達成状況が影響するものもあることから、一概に数値だけで評価できないものもある。
- 計画を作成する段階から、指標等の設定について市民・計画策定委員から意見を聴取する必要があるのではないか。